

令和8年7月30日

松阪市議会議員議長 濱口高志 様

報告者
日本共産党 殿村 峰代

令和8年7月29日 30 日に研修を受講しましたので、下記の通り報告いたします。

日 時 令和8年7月 29日水曜日、30 日木曜日

研 修 先 京都府京都市南区東九条西山王町1 京都 JA ビル

参加 議員 日本共産党松阪市議団

久松 倫生 殿村 峰代

研修 内容 地方自治研修会 公共施設特別講座

講 師 立命館大学 政策科学博士 森 裕之教授

(日本地方財政学会理事長・総務省経営・財務強化マネジメント強化アドバイザー)

講義 科目

- 1, 公共施設問題の基礎
- 2, 公共施設更新費用と財政的な視点
- 3, 学校統廃合と公共施設問題
- 4, インフラ老朽化の課題

内 容 及 び 所 感

公共施設の課題を地方財政の視点から解明するものであった。

松阪市でも、公共施設をめぐる次のような課題があげられていると思います。

- ・ 施設の老朽化対策と維持更新コストの抑制
- ・ 施設の集約や多機能化による効率化
- ・ 駅周辺や中心市街地への機能集約によるコンパクトなまちづくり
- ・ 歴史文化資源を活かしたシンボルづくり・にぎわいづくり

これらの諸課題に取り組むうえでいずれの講義内容も今後に生かせるものとなりました。

公共施設問題の基礎では「財政状況資料集」や「立地適正化計画」の活用という基本資料が提起されました。松阪ですすめられる実際の事業と密接にかかわる方法論だと思います。焦眉の課題となる駅西施設整備の公共部門は国の「都市再生整備計画事業」を検討するとされていますがそのもとには「立地適正化計画」があります。市施設運営の「指定管理」では PFI の手法、指定管理の仕様書の実践などの講義がありました。松阪では、かつての

図書館をめぐるPFIの破綻や北部給食センターのDBO方式の採用、ジョイントパートナーシップの是非について南学氏と松阪市の「論争」があったこと、水道水源と県営水道受水の関係など松阪市議会でのこれまでの実践を大いに検証する場ともなりました。競輪事業の包括外部委託が成功しましたがその意義を考えようと思うきっかけともなりました。実践的な課題を学べたことは松阪市の施策を検証するうえで力になるものです。講義を通して、地方交付税と交付金・起債の関連などこれまで取り組んでいることの検証にもなりました。森教授と言えは氏の『市民と議員のための自治体財政』をいつも手引きにしていますが久方ぶりに氏の直接の講義を聴けて議員活動の新たな節目となりました。